

なったらどうする？ 裁判員！

八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授 高須 則行

2009年から裁判員裁判制度が採用されています。この制度によって裁判の素人である市民が非日常である刑事裁判に関わることになりました。そこで、刑事裁判についての基本的考えや裁判員裁判制度の社会的意義を考えるうえで分かり易い著作、さらには発展的な著作を選んでみました。



法律における理窟と人情

我妻 榮

筆者も本書で述べているように、法律は、一方で、すべての場合に画一的に適用されることを必要としますが、他方で、それぞれの場合の特殊な事情に応ずることも必要とされます。一見すると両者は矛盾しているように見えますが、それをいかに両立させるかが法律家の智慧です。本書は、具体的事例を引き合いに出しながら、分かり易く説明されています。



あなたも明日は裁判員!?

飯 考行 / 裁判員ラウンジ

本書は、著者が主催している「裁判員ラウンジ」での裁判員経験者の体験談や法実務家の意見をまとめたものです。裁判員をまだ努めたことのない方を対象に、そもそも裁判員制度とはどのようなものか、裁判員裁判に携わるのはどのような人か、裁判員経験者に関する市民団体にどのようなものがあるのか、裁判員裁判はどのような実施状況にあり、どのような問題が論じられているかなどについて、平易に述べられています。



裁判員の教科書

橋爪 大三郎

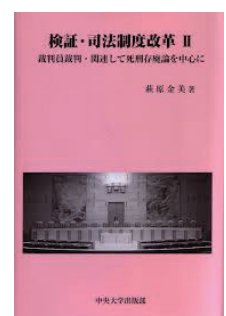
本書は、日本社会の仕組みを踏まえ、裁判員の仕事を努めたいと思っている人々に向けて書かれた裁判員のための教科書です。本書の構成は、刑事裁判の仕組み、被告人が有罪とされる条件、裁判員制度の欠点、日本の刑事裁判の問題点、裁判員制度の意義について述べられています。



人が人を裁くということ

小坂井 敏晶

本書は、裁くという行為の意味を、その根本に立ち戻って考えてゆこうとするものです。すなわち、裁判員制度導入をめぐる、一般市民と職業裁判官のどちらが正確に判断できるかが議論されていましたが、その問いかけ自体が的外れであるとし、正しい判断、合理的判断とは何を意味するのかを新たな角度から問題提起し、判決の実相を明らかにしようとするものです。



検証・司法制度改革 II

裁判員裁判・関連して死刑存廃論を中心に

萩原 金美

司法制度改革の目玉の一つである裁判員制度が始まって10年が経過しました。本書は、裁判員裁判における量刑の重要課題となる死刑の存廃の問題を中心に裁判員制度を改めて検討するための視点を提供しています。本書の中でも、「裁判とは何か——市民のための裁判法講話——」は裁判を知るうえでたいへん分かりやすいものです。

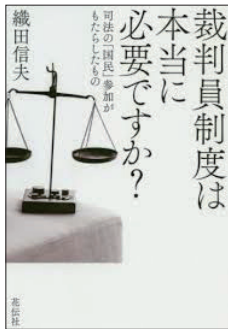


裁判員制度の10年

市民参加の意義と展望

牧野 茂 / 大城 聡 / 飯 考行

平成の司法制度改革の中で平成21年(2009年)に裁判員制度は導入されました。本書では、司法への市民参加の10年間の軌跡を振り返り、裁判員制度がわたしたちの社会をどのように変えたのか。そして、今後、どのように変えていくのかを明らかにしようとするものです。



裁判員制度は本当に必要ですか？

司法の「国民」参加がもたらしたもの

織田 信夫

本書は、裁判員制度が施行されて10年が経ち、最近では裁判員辞退者が増加する傾向や、裁判員裁判の判決が上級審で覆される点を踏まえて、改めて裁判員制度について検討を加えることが必要と考えて執筆されたものです。

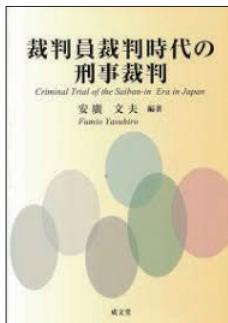


あなたが変える裁判員制度

市民からみた司法参加の現在

大城 聡 / 坂上 暢幸 / 福田 隆行

私たちはある日突然に日常生活の中に非日常的な刑事裁判が持ち込まれてしまいます。そのような制度が裁判員裁判制度です。本書は、裁判員経験者の声を丹念に聞き取り、その言葉をまとめて、非日常的な裁判員裁判が私たちにとってどのような意義があるのかを考えるきっかけを与えています。



裁判員裁判時代の刑事裁判

安廣 文夫

本書は、裁判員制度をさらに理解しようとする者にとって参考となる、多数の有力判事・著名な学者ら25名の有益な諸論文を収めた論文集です。本書は、第1部と第2部に分かれており、第1部では、「手続法・裁判員裁判の運用上の諸問題」を中心に、第2部では、「実体法上の諸問題」を中心に個別の論文が収録されています。



法と倫理の心理学

心理学の知識を裁判に活かす

仲 真紀子

裁判員制度では、法の専門家である裁判官と裁判員として選ばれた素人である市民とが協働し、証拠を評価し、法的判断を行う制度です。本書は、心理学者の立場から、事実認定をする際に、誤判原因に対する意識、目撃証言の信用性評価、記憶の抑圧や回復についての信念、言い逃れのメカニズムなどを論究するものです。

八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 教授

たかす のりゆき
高須 則行

1959年生まれ。専門領域は法哲学・法思想史。

特に19～20世紀のドイツにおける法学方法論

1989年 独・ヨハネス・グーテンベルク大学留学

(日本大学派遣交換留学生として)

1993年 日本大学博士後期課程満期退学(公法学専攻)

2016年～ 八戸学院大学



八戸ブックセンター
HACHINOHE BOOK CENTER

〒031-0033 青森県八戸市六日町 16-2 Garden Terrace 1F
TEL 0178-20-8368 FAX 0178-20-8218 web <https://8book.jp/>